

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 高岡地区広域圏事務組合 (都道府県: 富山県)
 本事業の担当部局名 高岡地区広域圏事務組合総務課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業		
区分	一般メニュー		
関連事業メニュー	1_1_3 結婚支援を行うボランティアの育成、ネットワーク化		
個別事業名	広域婚活支援事業(縁結びボランティアによる婚活支援)	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日	事業開始年度	平成 27 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	1,752,482		円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通 高岡地区広域圏(高岡市、氷見市、小矢部市で構成)では、年少人口の減少が続いている。課題として、20代後半から40代後半の未婚率の高さがあげられる。(令和2年国勢調査によると、広域圏の20代後半から40代後半の未婚率は、富山県全体と比較し、約2%高い結果であった。)また、広域圏構成市である3市のうち、1市で結婚支援事業の実施が結婚後の支援だけであり、結婚までの支援がないことから、連携が十分に出来ていないことも一因となっている。 (当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) <当年度の少子化対策の全体像> ※全事業共通 高岡地区広域圏事務組合では、平成27年度より広域婚活支援事業を行っている。しかしながら、組合構成市である3市のうち、2市(氷見市、小矢部市)で、国の婚姻率(令和4年人口動態調査)より4.1%を下回っている。そのなかで、これまでと同様に市町村単体ではなく、構成市3市が連携して婚活事業に取り組んでいく。 <本個別事業の位置付け> 高岡地区広域圏事務組合では、平成28年度から仲人的な役割をする「縁結びボランティア」による婚活支援に取り組んでいるが、独身者よりもその家族、特に独身男性の親からの相談や問い合わせが非常に多い。それに対して独身者本人が婚活に消極的であったり、コミュニケーションに対する積極性が見られない傾向がある。単なる出会いの場づくりではなく、出会いの後も二人を後押しするなど、より積極的な支援が必要となっている。 また、構成市を含んだ近隣市町村の中でも、婚活を支援するボランティアによる「仲人」的な事業が開始され、一定の結果を出しているが、事業が継続されるにつれて、サポート対象である登録者の数が伸び悩み、単独の自治体での結婚希望者のマッチングに限界があるという状況が浮かんできている。 このため、企業・団体単位での登録などの対策を検討する近隣自治体が増えている。 当組合を構成する各市において策定が進められた総合戦略では、いずれも、少子化対策としての一連の事業、目標として、「結婚」の段階を含めた総合的な対策を掲げている。その中では、単独の事業に加えて、「広域的な取り組み」、「隣接市との連携」に言及している状況にある。 圏域内の婚活支援の取り組みについては、市によって取り組み状況が異なっているところであり、当組合が構成市の事業を補完し、連携することで、マッチングの機会が増え、カップル成立数や成婚数の増加が期待される。 加えて、富山県では平成26年度に「とやまマリッジサポートセンター」が設置され、県下全域での情報端末を活用した婚活支援事業に着手されており、また平成28年度に富山県結婚支援ネットワークが形成されたことから、こうした事業とも連携しながら、総合的かつ広域的な婚活支援事業を実施していくものである。 当組合が行う広域婚活支援事業では、①縁結びボランティアによる婚活支援、②県が行う結婚支援事業との協力・連携、③出会いの機会づくりの実施を三つの柱として、総合的な結婚への支援を行う。本事業はこれらのうち、①に位置づけられる。 (過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)) 本事業では現状、縁結びボランティアによる婚活支援において、どのようにサポート登録者に活動についてのアドバイスや相談にのるべきなのか、ということが課題となっている。引き合わせをしたあと、マッチングが成立した場合、しなかった場合それぞれフォローとして電話やLINEにて声がけを行っているが、その際かける言葉はもちろんその人それぞれ異なる。そのため、この場合はどのような言葉をかけるべきなのか、かけるといいのかということに縁結びボランティアは大変苦慮している。 そのため、令和6年度ではボランティア養成講座において、①縁結びボランティア中級研修&ボランティア交流会、②縁結びボランティア初級研修において婚活やコミュニケーションに特化した講師を招き、講義を行う。その中で、サポート登録者への声がけや接し方について学ぶ機会としたい。		

番号	項目	内容	ステップ アップ	KPI 設定
1	縁結びボランティア による婚活支援	高岡地区広域圏事務組合の「縁結びボランティア」が、下記の活動を行う。 ・地域における相談業務 ・地域の未婚者同士のマッチング・お引き合わせ ・イベントの企画運営		
2	ボランティア養成講座	①縁結びボランティア中級研修&ボランティア交流会(9月頃実施) ②縁結びボランティア初級研修(3月頃実施)	○	○
3	ボランティア活動助成	ボランティア活動助成金として、圏域内構成3市の婚活支援活動ボランティア団体に助成 ・ボランティア活動費(年間活動費として)5,000円 ・サポート登録者定例会(年間12回開催予定)交通費等として1回あたり500円 ・対象者との面談または引き合わせ1回につき1,000円		○
【次年度以降に向けた事業の方向性】				
【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 ・氷見市縁結び推進事業、小矢部市結婚活動支援事業				

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
	・圏域内縁結びボランティアの活動による成婚数		組	累計50	令和5年度8組
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			高岡市1.49、氷見市1.41、小矢部市1.43	
	婚姻件数		件	高岡市1,024、氷見市80、小矢部市108	
	婚姻率			高岡市4.3、氷見市3.3、小矢部市3.8	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容 番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	・参加目標人数:中級研修&交流会	人	30	令和5年度:18名
	2	・参加目標人数:初級研修	人	20	令和4年度:20名
	3	・広域縁結びボランティアの新規登録数	人	10	令和5年度(12月末時点):2人
	4	・広域縁結びボランティア事業サポート登録者数	人	90	令和5年度(12月末時点):120人
		(アウトカム)			
	1	・ボランティア養成講座参加後のアンケート「研修が今後の活動に役立つ」の回答割合	%	75	令和5年度:80%
	2	・ボランティアの支援を受けたサポート登録者の満足度(アンケート)	%	70	令和5年度:93%
	3	・サポート登録者数に対する引き合わせ成立者数の割合	%	70	令和5年度:93%
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	当組合では婚活支援利用者にとよまマリッジサポートセンターを紹介して利用促進を図り、また同センターが実施するセミナーやイベントの情報提供をいただいてそれをボランティアに提供することで、圏域住民の出会いの間口が広がるよう努めている。また、富山県結婚支援ネットワーク会議が設立され、各市町村の婚活情報を県のサイトに掲載していただけるようになったことから、当組合の情報も積極的に提供していく。				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	これまで、縁結びボランティアの募集についてJA、保険会社、結婚式場等へ広報依頼をしてきたが、今後は当組合が行うイベントやサポート希望者の募集等についての広報を県内の一般企業や団体にも依頼し、イベント実施にあたっては、構成市の各種団体との共同開催等連携も進めていく。				

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 高岡地区広域圏事務組合 (都道府県: 富山県)
本事業の担当部局名 高岡地区広域圏事務組合総務課

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業		
区分	一般メニュー		
関連事業メニュー	1.1.5 その他、各地域において結婚を希望する者の希望の実現を支援するための取組		
個別事業名	広域婚活支援事業(出会いの機会づくりの実施)	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日	事業開始年度	平成 27 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	2,252,920		円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通 高岡地区広域圏(高岡市、氷見市、小矢部市で構成)では、年少人口の減少が続いている。課題として、20代後半から40代後半の未婚率の高さがあげられる。(令和2年国勢調査によると、広域圏の20代後半から40代後半の未婚率は、富山県全体と比較し、約2%高い結果であった。)また、広域圏構成市である3市のうち、1市で結婚支援事業の実施が結婚後の支援だけでなく、結婚までの支援がないことから、連携が十分に出来ていないことも一因となっている。 (当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け) ＜当年度の少子化対策の全体像＞ ※全事業共通 高岡地区広域圏事務組合では、平成27年度より広域婚活支援事業を行っている。しかしながら、組合構成市である3市のうち、2市(氷見市、小矢部市)で、国の婚姻率(令和4年人口動態調査)より4.1%を下回っている。そのなかで、これまでと同様に市町村単体ではなく、構成市3市が連携して婚活事業に取り組んでいく。 ＜本個別事業の位置付け＞ 高岡地区広域圏事務組合では、平成28年度から仲人的な役割をする「縁結びボランティア」による婚活支援に取り組んでいるが、独身者よりもその家族、特に独身男性の親からの相談や問い合わせが非常に多い。それに対して独身者本人が婚活に消極的であったり、コミュニケーションに対する積極性が見られない傾向がある。単なる出会いの場づくりではなく、出会いの後二人を後押しするなど、より積極的な支援が必要となっている。 また、構成市を含んだ近隣市町村の中でも、婚活を支援するボランティアによる「仲人」的な事業が開始され、一定の成果を出しているが、事業が継続されるにつれて、サポート対象である登録者の数が伸び悩み、単独の自治体での結婚希望者のマッチングに限界があるという状況が浮かんできている。 このため、企業・団体単位での登録などの対策を検討する近隣自治体が増えている。 当組合を構成する各市において策定が進められた総合戦略では、いずれも、少子化対策としての一連の事業、目標として、「結婚」の段階を含めた総合的な対策を掲げている。その中では、単独の事業に加えて、「広域的な取り組み」、「隣接市との連携」に言及している状況にある。 圏域内の婚活支援の取り組みについては、市によって取り組み状況が異なっているところであり、当組合が構成市の事業を補完し、連携することで、マッチングの機会が増え、カップル成立数や成婚数の増加が期待される。 加えて、富山県では平成26年度に「とやまマリッジサポートセンター」が設置され、県下全域での情報端末を活用した婚活支援事業に着手されており、また平成28年度に富山県結婚支援ネットワークが形成されたことから、こうした事業とも連携しながら、総合的かつ広域的な婚活支援事業を実施していくものである。 当組合が行う広域婚活支援事業では、①縁結びボランティアによる婚活支援、②県が行う結婚支援事業との協力・連携、③出会いの機会づくりの実施を三つの柱として、総合的な結婚への支援を行う。本事業はこれらのうち、③に位置づけられる。 (過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)) 本事業は、結婚に関するセミナーやイベントを開催し、結婚を希望する男女に対し、自身のブラッシュアップや出会いの機会の場を創出するものである。 本事業における現状として、長引くコロナ禍により婚活イベントを開催できない状況が続いていたことから、イベント参加への需要が高まっていたこともあり、R4、5年度に開催したイベントは貴重な機会となり、早々に募集定員に達する状況となるなど、効果のある取組みとなった。 課題としては、一点目に、各市がそれぞれ実施する婚活のみでは登録者が少ないこともあり、なかなかマッチングしない現状があり、それを打破する為にはより広域的な取り組みを増やし、交流人口を増やす施策が必要となっている。二点目に、婚活、結婚に消極的な独身男女の親等からの相談が年々増加していることがあげられる。コロナ禍により人との交流が減ったことに加え、結婚に関する悩みを相談できる機会があまりない。三点目に、参加者の中には外見があまり整っておらず、相手と全く話すことができない方がいることがあげられる。 このような課題解決に取り組むため、令和6年度においては交流イベントにおいて相手のことを知る時間を多く作る。また、結婚に関する悩みを相談できる機会として婚活に関する無料相談事業も継続するなど、結婚を希望する男女に対し、サポートの充実を図る。		

個別事業の内容 ※(注)3	番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
	1	婚活セミナー付きイベント	結婚を希望する独身の男女を対象に事前セミナー付出会いのイベントを開催する。イベントには縁結びボランティアも参加し、参加者に会話やマッチング後のフォロー等を行う。事前セミナーは、ボランティアと登録者との意見交換会において受講したいセミナーをヒアリングし、ボランティアと登録者の意見を取り入れた内容のセミナーを実施する。 参加目標人数:60人(男女各30人)、開催回数:1回		○
	2	交流イベント	結婚を希望する独身の男女を対象に出会いのイベントを開催する。イベントには縁結びボランティアも参加し、会話やマッチング後のフォロー等を行う。また、参加者へ縁結びボランティア事業や県の結婚支援センターへの登録促進を図る。R4年度からは参加者を年代別に対象範囲を設けたところマッチング率が向上したため、R6年度においても継続して実施する。また、参加者がイベントでより多くマッチングするよう、気になる相手がいない場合にもできるだけ相手を選ぶ様に促しマッチング率を向上させるなどイベント内容を工夫する。 参加目標人数:延べ128人(男女各64人)、開催回数:全10回		○
	3	民間結婚相談事業者による無料相談事業	婚活、結婚に関して、本人、親、家族からの相談が年々増加しており、そのような事柄に対応するため、結婚相談等を生業とする民間の事業者等による相談事業を実施する。相談者が、今日の結婚事情等への理解を深めたうえで、それぞれの婚活支援事業を活用していただくための環境づくりを進めていく。	○	○
	【次年度以降に向けた事業の方向性】 ・事業PRのためのポスターやチラシによる周知を今後も継続して行い、構成市にある民間事業所や個人事業の場にもPRポスター、チラシの設置を呼びかける。また、これまで以上にボランティアとの交流や意見交換を行い、ボランティアに寄り添った婚活を進めて行く。 【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】 ・氷見市縁結び推進事業、小矢部市結婚活動支援事業				

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
	・セミナーやイベント実施後の参加者アンケート		%	「満足」の回答が80%	令和5年度:74%

参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			高岡市1.49、氷見市1.41、小矢部市1.43	
	婚姻件数		件	高岡市1,024、氷見市80、小矢部市108	
	婚姻率			高岡市4.3、氷見市3.3、小矢部市3.8	

個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容番号	項目			
	(アウトプット)				
	1、2	・セミナー、イベント参加目標人数(達成率100%)	人	188	令和5年度:116名
	1、2	・セミナー、イベント引き合わせ(カップリング)成立組	組	30	令和5年度:5組
	1、2	・セミナー、イベントボランティア参加目標人数(達成率100%)	人	20	令和5年度:18名
	3	・無料婚活相談事業参加目標人数(達成率80%)	人	20	令和5年度:6名
	(アウトカム)				
	1、2	・セミナー、イベント参加者アンケート「結婚に対する活動に前向きになった」の回答割合	%	70	令和5年度:81%
	1、2	・セミナー、イベント参加者アンケート「イベントの参加を友人にも薦めたいと思った」の回答割合(満足度)	%	70	令和5年度:77%
	1、2	・セミナー、イベント参加ボランティアアンケート「本日のイベントで実践的に活動できたと思う」の回答割合	%	70	令和5年度100%

他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	当組合では婚活支援利用者にとりまらじサポートセンターを紹介して利用促進を図り、また同センターが実施するセミナーやイベントの情報提供をいただいでそれをボランティアに提供することで、圏域住民の出会いの間口が広がるよう努めている。また、富山県結婚支援ネットワーク会議が設立され、各市町村の婚活情報を県のサイトに掲載していただけるようになったことから、当組合の情報も積極的に提供していく。
--------------------------------	--

民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	令和5年度に高岡商工会議所青年部との合同主催による婚活イベントを行った。また、保険会社より後援として婚活イベントに協力してもらうなど、民間との連携の一步を踏み出すことができたので、令和6年度も今後も継続して連携を行う。
---------------------------------	---

(注)

1「対象経費支出予定額」には、本交付金の対象外経費を除いた対象経費支出予定額(補助率を乗じる前の額)を記入すること。また、金額の根拠となる資料(見積書等)を添付すること。

2「自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け」には、次の①～③を記載すること。ただし、結婚新生活支援事業において、③は記載不要。

①これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題

②当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

③過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)

3「個別事業の内容」には、本個別事業の具体的内容を記載すること。

※個別事業を次年度以降も自立的に発展させるため、事業内容の末尾に必ず次年度以降に向けた事業の方向性を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

※事業内容を検討する上で参考とした既存事業があれば、都道府県名又は市町村名、事業名を記載すること(結婚新生活支援事業においては記載不要)。

4「少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」については、自治体の少子化対策全体のKPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体は少なくとも令和6年度終了時点で、各自治体において効果検証を実施すること。

5「参考指標」には、各自治体の合計特殊出生率、婚姻件数、婚姻率を記載すること。

6「個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標」には、自治体における少子化対策の全体像の中での本個別事業の位置付けを踏まえ、KPI及び定量的成果目標を達成予定時期を含め記載すること。また、各自治体において効果検証を実施すること。

※過去に関連する事業を実施している場合は、過去に設定したKPIを踏まえたKPIを設定すること。

※結婚支援センター事業を実施する場合は、参考として直近年度の「会員登録数」「引き合わせ成立者数」「カップル成立組数」「成婚数」を記載すること。

7「他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方策」には、本個別事業を他の都道府県や市町村と連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記載すること。

8「民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法」には、本個別事業を民間事業者との連携のもと実施する場合、その考え方及び具体的方法を記入すること。